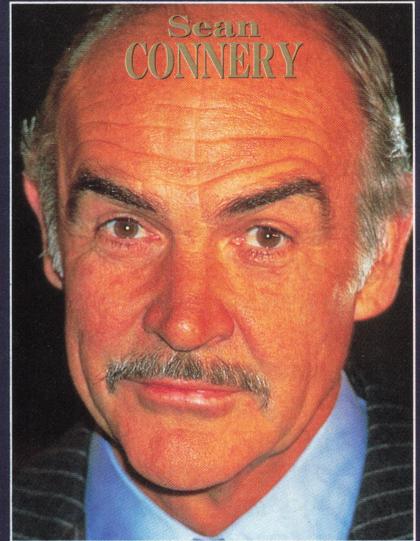
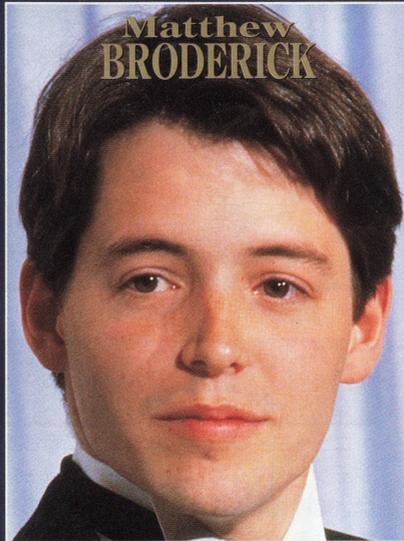
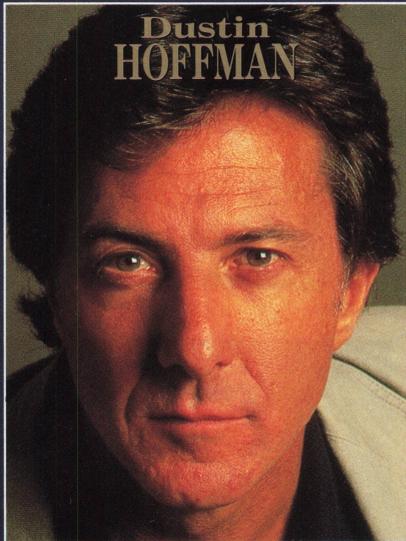


90年ニューヨークこれだけ揃えば何かが起る!

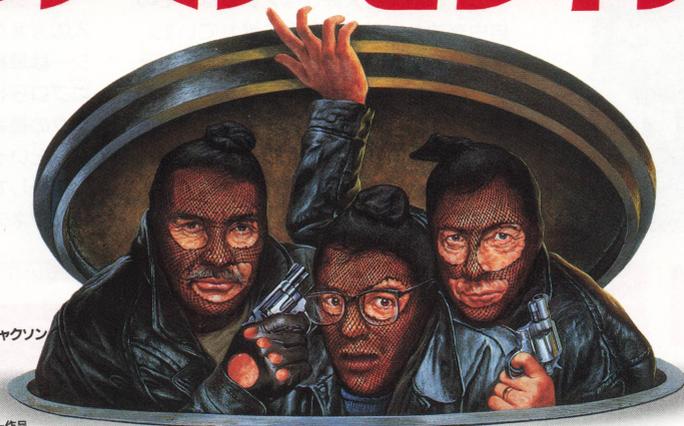


FAMILY BUSINESS

DIRECTED BY SIDNEY LUMET



ファミリービジネス



ショーン・コネリー
ダスティン・ホフマン
マシュー・プロデリック

ジャネット・キャロル/ロサーナ・テート
デボラ・ラッシュ/マリリン・クーパー/ヴィクトリア・ジャクソン

製作総指揮:アーノン・ミルチャン
:ジェニファー・オグデン
:バート・ハリス
製作:ラリー・ゴードン
監督:シドニールメット
原作・脚本:ヴィンセント・バトリック(原作:乱闘)
撮影:アンジェイ・バルトコウイアク
編集:アンドリュー・モンシェイン
音楽:サイ・コールマン



バイオリアルDC株式会社/日本ヘラルド映画:共同提供
日本ヘラルド映画:配給 1989年/アメリカ/ゴートン・カンパニー作品

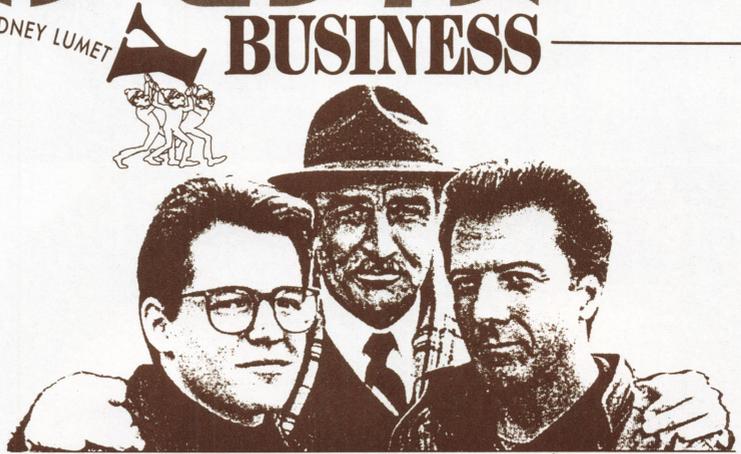
世界の映画ファンが夢見た顔合わせ——ついに実現！
S・コネリー、D・ホフマンの共演！結集した超一流のスタッフ！

ファミリービジネス

FAMIL DIRECTED BY SIDNEY LUMET BUSINESS

ハリウッドの大看板、二大アカデミー賞俳優ショーン・コネリーとダスティン・ホフマンが若手人気スター、マシュー・プロデリックを加えて、初共演する超話題作「ファミリービジネス」がいよいよやってくる。

祖父・父・息子の三代に渡る犯罪者ファミリーの心暖まる家族愛を感動的に描くこの作品は、監督に「オリент急行殺人事件」「狼たちの午後」「評決」など、常に話題作を撮りつづけてきたシドニー・ルメット、撮影に「女と男の名誉」「愛と追憶の日々」のアンジェイ・バルトコウィアク、美術に「オール・ザット・ジャズ」「ウィズ」のフィリップ・ローゼンバーグが、そして製作を「48時間」「ダイ・ハード」のラリー・ゴードン、製作総指揮に「ワンス・アポン・ア・タイム・イン・アメリカ」「未来世紀ブラジル」のアーノン・ミルチャンという、今日のハリウッドを代表する錚々たるメンバーがスタッフに顔を揃えた、まさに'90年代の幕開けにふさわしい胸躍る豪華大作である。



泥棒は家族の絆を築く……？

ニューヨークのマンハッタンに暮らすジェシー・マクマレン（S・コネリー）は、泥棒稼業を長く続けている初老の男。性格は荒っぽいが、人生は楽しく過ごすをモットーとしており、酒と女が大好きで、時々ホラを吹いてはトラブルを巻き起している。ジェシーの片腕だった息子のヴィトー（D・ホフマン）は結婚して、子供アダム（M・プロデリック）が生まれた時に泥棒稼業から足を洗った。ヴィトーは父親を愛しているが、あまり親しくしすぎると、またそろ昔の生活に引き戻されるのではないかと、いつも恐れている。アダムは頭脳明晰、名門マサチューセッツ工科大学に学び、将来を嘱望されていた。ヴィトーは自慢の息子にずっと言い続けてきた。

「おじいちゃんに近づかなければ、何でも好きなことをしていいんだよ」と。

しかし祖父を大好きなアダムは、その自由奔放な生き方に秘かに憧れていた。そんなアダムが凄いやまを考えた。ジェシーのもとを訪ねたアダムはその一大犯罪計画を打ち明ける。ハイテク工場に侵入して、100万ドル以上の価値がある機密書類を盗もうというのだ。祖父の犯罪遺産は孫にも及んでいたのである。ジェ



シーはマクマレン家の三代目が「泥棒の血」を受け継いでいるのを知り大喜び。しかし、このことを知ったヴィトーは烈火の如く怒った。なんとかこの計画をやめさせようとするが、

「俺たちのことが、そんなに心配なら仲間に入ってくれよ。なんてたってファミリービジネス」なんだから……」と逆にジェシーに諭され仕事に加わるようになってしまう。彼らの間にはそうして皮肉なことに、犯罪を企てることによって家族の固い絆が生まれていった。

ところが、いざ計画を立ててみると三人の考えた方法は全く違っていた。ジェシーは単純に押し込み、ヴィトーは慎重にプロらしく道具を選ぶ、アダムはハイテクの複雑で洗練されたテクニックを駆使——といった按配。

果たしてマクマレン一家の「ファミリービジネス」は成功するのか……。



新春第2弾1月下旬よりロードショー

〈同時公開〉恋人たちの予感

帯広市西2南9 TEL 23-4295

ロッポニカ帯広

長崎屋ウラ2階です